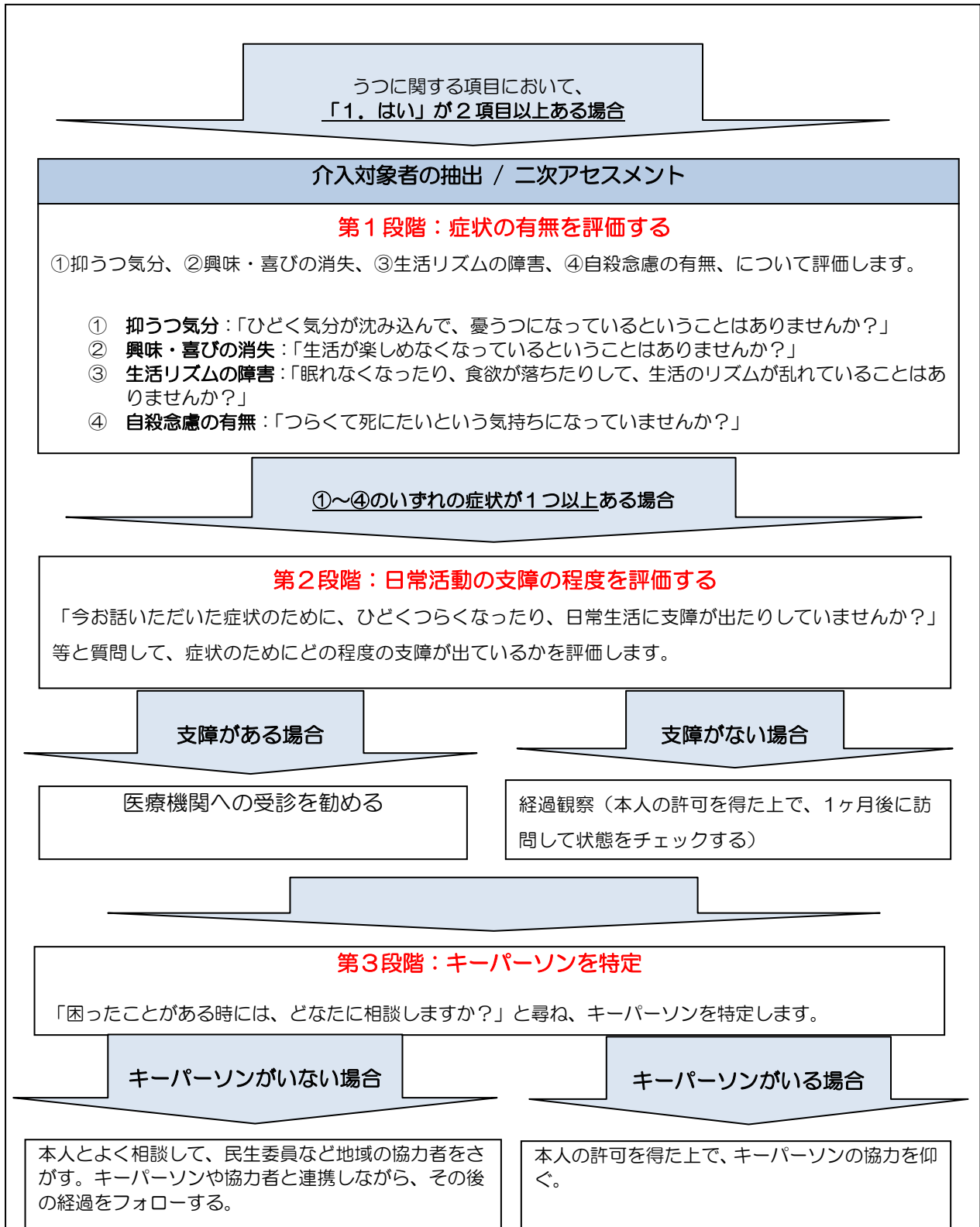


図6 うつの二次アセスメントの流れ



【参考】この他にも、うつ質問票（GDS、Self-rating Depression Scale (SDS)、Center for Epidemiological Studies Depression (CES-D)、Quick Inventory of Depressive Symptomatology (QIDS)）が開発、使用されているので、対象者によってこうした質問票を併用したり、身体症状やADL、社会的支援の有無などもあわせて聴取したりすると良いでしょう。QIDS日本語版は資料5に掲載されており、また、携帯サイト（うつ・不安に効く.com : <http://cbt.jp.net>）でも自動的にチェックできます。